

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

YOUR

平成29年 一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第69号

第51回関東甲信越大会in千葉 「ここで暮らし続ける」



◆会場
松戸森のホール21 & 21世紀の森と広場

市川市キャラバン隊

今大会では、座間・八千代・松戸・市川の各市が取り組んでいるキャラバン隊が紹介されました。各市の活動の報告と、実演がみられるよい機会でした。これから活動に力を入れたと考えていた私達にとって、大変参考になりました。しかも、年間通して数多く公演している隊員の演技力には圧倒されました。各年代の皆さんに分かっていただいたためには、柔らかに表現する事や女優の気分でも必要だと、自分達の取り組みを見つめ直す機会になりました。

今回の資料を持ち帰り早々に集合して作戦会議を開き、新しい視点で取り組みを始めたいです。

P & Aさいたま

第二分科会
「ありのままを伝えたい」
障害理解を深めて共生社会へ

障害者週間

市民のつどい

- 日時 平成29年 **12月9日(土)**
10:00 ~ 16:00
- 会場 浦和コミセン(コムナーレ10階)
浦和駅東口駅前市民広場
- 基調講演
講師 野田あすか氏・野田恭子氏
「発達障害のピアニストからの手紙
どうして、まわりとうまうかないの？」
- 定員 350名(入場無料)
- 開演 14時00分(開場13時30分)

- ◆申し込み方法
11月13日から電話・ファックスで(先着順)
①基調講演の申込み ②氏名(フリガナ)
③連絡先(電話・FAX/メール等)
- ◆申し込み先
さいたま市障害者協議会
TEL 048-653-7271 FAX 048-653-7341

さいたま市障害者社会参加推進事業

「家族教室」

65歳になった障害のある人の生活を考える

- 日時 平成29年 **11月25日(土)**
10:00 ~ 12:30
- 会場 浦和コミセン(コムナーレ9階)
第15集会室
- 講師 全国手をつなぐ育成会連合会機関誌
「手をつなぐ」編集委員
神奈川県平塚市福祉総務課
又村 あおい氏
- 参加費 無料
- 定員 90名 情報保障有り

- ◆申し込み・問合せ先
さいたま市障害者協議会
TEL 048(653)7271 FAX 048(653)7341
さいたま市手をつなぐ育成会
TEL・FAX 048(654)7763

☆編集後記☆

厳しい暑さの七月、曇りや雨の続いた八月と、今年の夏はとうとう終わったのでしよう。家族の体調を気遣うのは当然ですが、高齢になった私の方がこの激しい変化についていくだけでやっとでした。色々な施設での、不祥事が報道される度に、施設の中で職員さんたちが、障害のある人たちにどの様な気持ちで接していたのか気になってきます。これ以上、辛いニュースは聞きたくありませんから！

計報

中村 明様(中央区)
平成二十九年七月二十三日 永眠
謹んでご冥福をお祈り申し上げます

AIUの障害者割引適用自動車保険について

2015年10月1日以降補償開始契約用

自動車保険 総合自動車保険 (type P/ type B) / 家族総合自動車保険 (type R)

「身体障害者手帳」「療育手帳」などをお持ちの障害者とそのご家族のための自動車保険です。障害者割引の適用により、

他の保険会社からの無事故割引(等級)を継承したうえで、さらに保険料を10%割引(弊社同内容商品比)

家族総合自動車保険では、ゴールド免許証の方は、別途、最大16%の割引も受けられます。

車の故障・事故等に役立つロードサービス[※]をご提供します。

※30分を超える特殊作業など、場合によりお客さまにご負担いただくことがあります。

株式会社ジェイアイシー (AIU保険会社 代理店)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 0120-213-119 FAX: 03-5321-4774
受付時間 9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)
ホームページ: http://www.jicgroup.co.jp



A-000579 (2017-09)



AIU損害保険株式会社(引受保険会社)
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14F
TEL: 03-6894-9110 FAX: 03-6894-9922
受付時間 9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)
ホームページ: http://www.aiu.co.jp



会長のつぶやき
1) 報告
 皆さまには、会長の病気に
 ついて大変ご心配をお掛けし
 ております。
 七月に無事に手術も終わり
 ただ今リハビリに励んでおり
 ます。
 いましばらく、休養をとり
 まして、元気に皆様の前に戻
 って来られると思います。
 会の活動など、もう少しご
 不便をお掛けする事になりま
 すが、何かございましたら事
 務局を通して総務担当加藤が
 受け賜ります。よろしくお願
 い申し上げます。

浦和地区からいんには
 浦和地区で現在課題となつて
 いるのは、殆どの会員が高齡化
 し、当然子ども達も高齡になつ
 てきていることから、入所やグル
 ープホームについての話が中心
 になってきています。
 なかなかホーム等入ることも
 出来ず、親離れすることもまま
 ならず、常に結論は先送り、そ
 れでも、悩みをみんなて共有す
 ることによって、少しはすつき
 りとして頂けていると信じてい
 ます。
 そんな中で、一番の心配は、
 常に親亡き後のこと、会合に出
 て来られる人はまだ何とか元氣
 な人、出掛けて来ることも出来
 ない人がとても心配です。
 ひとりで悩んでいたたり、不便
 なことが沢山あってどうにもな
 らなくなっているのだらうかと
 案じてはおります。
 出来る限り、顔の見える会に
 していくことが、少しでも解決
 に繋がればと、配布物等も、近



桜区の懇親会。
 行政の皆さんも一緒にストレッチ！

1, 2...

所の方が届けられるようにと努
 力をして頂いております。
 四区合同のレクが毎年行われ
 ています。
 今年度は緑区担当で、「こん
 にやくパーク」と「ガトーショ
 コラ原田」の見学です。
 また、四区支部ごとに食事を
 や様々な懇親会などを行って
 おりますので、是非、お近くの集
 まりがありましたら参加して繋
 がっていきましよう。
「手をつなぐ」の
語源のように!!

Otsuka 大塚食品

原材料は、雪、雨、風、
 そして、シャスタという大地の力。
 人間だけでは決してつくりえないものがある。

Power of Nature
 ここ、シャスタの山から。

分科会報告

第三分科会

「計画相談で広がる暮らし」
 本人に伴走する

支援者の「あるある」を聞き
 思わず親でも「あるある」と共
 感したので紹介します。

障害福祉サービスの現実あるある
 ○重度の方は支援者やご家族の方の
 要望を優先させがち

○軽度で自分の意見を言う方に対し
 て、やっかい者、わがまま自分勝
 手と決めつけがち

○もの言わず、従順な方を求めがち
 支援員として心がけていること

○その人と関わることで、より時間
 をかけること、決めつけないこと
 ○抱え込まず孤立しないようにす
 ること

○チームを作ること、ネットワー
 クを作ること

子どもの将来は、グループホ
 ームとしか考えていませんでし
 たが、生まれ育った家に一人で
 生活している方もいると聞き驚
 きでした。

第四分科会

「高齡化を考える」
 暮らしと医療を誰に託す

知的に障害のある人も、高齡
 化は同じ、医療的な問題が多く
 を占めてくる事は勿論ですが、
 老後を豊かに過ごすためにも、
 誰かに託す時に、本人の思いを
 どれだけ自己決定に出来るか。
 (人は経験した事からしか正確
 な判断は出来ない)

◆日頃からしっかりと本人の思い
 を聞く事

◆判り易い情報提供をする事

◆自分で出来る事、出来ない事を
 整理すること

◆不安に思っている事を解消する事

支援とは一人ひとりの人生の
 自己決定の実現への介入であり
 一人ひとりが願う暮らしの実現
 のために、制度がどう変わろう
 とも、支援者の姿勢は決してブ
 レてはいけない。

支援の動機は「聞く事」によ
 って得られる。聞く事は「する
 事」を約束すること。聞くこと
 こそ、最大の権利擁護だ。目的
 は、ただ一人の思い「ここがい

い、ここに住んで良かった」を
 応援させていただくこと。
 今私たち親に出来る事、準備
 しておく事として、痛感させら
 れました。

第五分科会

「権利擁護を考える」
 相模原事件から一年

私たち育成会が活動してきた
 「ともに生きる」が一瞬で崩れて
 いった事件でした。

犯行が、施設で一時期障害者と
 一緒に生活し、支えていた職員と
 いうことがな複雑な思いでした。
 小さな虐待があった時に、施設
 の中で共有していれば、チェック
 機能が働いていればなど話を聞く
 と見えてきました。

久保会長のお話しの中では、障
 害の子が生まれてくるまでは私た
 ちの心の中にも小さな差別や差別
 がなかったか思い出してください。
 小さい時から共に暮らし、学校
 生活の中でも障害に対しての理解
 などを学ぶ時間が一番大事な事だ
 と思います。

今後とも啓蒙活動を進めていか
 なければと感じました。

ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障害者の団体として活動を続けた経験を
 踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。

★**居宅介護（ホームヘルプ）**
 入浴・排泄・食事の介護など

★**行動支援**
 行動上著しい困難を有する知的障害者（児）
 精神障害者の外出の介護・危険回避のための支援

★**移動支援（ガイドヘルプ）**
 余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ
 円滑に出来るよう、移動についての支援

★**ヘルパー募集中**

一般社団法人 飛躍
 ヘルパーステーション ほっと
 さいたま市大宮区天沼町2-813
 ☎ 048-649-5703